

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公表番号】特表2019-523738(P2019-523738A)

【公表日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2019-517182(P2019-517182)

【国際特許分類】

B 6 5 D 83/08 (2006.01)

A 4 7 K 7/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/08 B

A 4 7 K 7/00 H

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月12日(2020.8.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分配ノズルを有する、ワイプ収納分配用容器であって、

使用時にワイプを収容するハウジングであって、前記ワイプは複数のシートから形成され、前記ワイプの端部は分離力を受けたときに別々のワイプに分離することができるよう解除可能に一連に互いに取り付けられている、ハウジングを含み、

前記ワイプ収納分配用容器は、先端部に開口部を有する、環状突起を備えた弾性力のある分配ノズルを有し、

使用時に、ワイプを前記分配ノズルの前記開口部を通して前記ワイプ収納分配用容器から引き出すことができ、

前記分配ノズルは、1つのワイプの隣接するワイプからの分離を可能にするか促進するのに十分な大きさの把持力を前記ワイプに適用し、

前記分配ノズル内に、前記環状突起をその基部とする1つ以上のスパイクが備えられており、

前記1つ以上のスパイクは第1の位置と第2の位置の間で第1の位置と第2の位置との間で屈曲することができ、

前記第1の位置では、前記1つ以上のスパイクは全体的に前記開口部の中央を向いており、

前記第2の位置では、前記1つ以上のスパイクは、前記開口部を通じて収納分配用容器からワイプが引き出される時にワイプが進む方向に全体的に傾き、

前記1つ以上のスパイクの形状は通常使用時に前記第2の位置に屈曲した時に、前記ワイプが前記分配ノズル内のギャップ全体を占め、

前記1つ以上のスパイクを前記第1の位置から前記第2の位置に屈曲させるのに必要な力は、前記1つ以上のスパイクを前記第1の位置から第3の位置に屈曲させるのに必要な力より小さく、

前記第3の位置では、前記1つ以上のスパイクは、前記開口部を通じて収納分配用容器からワイプが引き出される時にワイプが進む方向とは逆方向に全体的に傾き、

屈曲に必要な力の差は、前記1つ以上のスパイクの形状によってもたらされ、

前記 1 つ以上のスパイクの縦断面では、前記環状突起と前記 1 つ以上のスパイクの上面の成す角度は前記環状突起と前記 1 つ以上のスパイクの上面の成す角度よりも大きい、ワイプ収納分配用容器。

【請求項 2】

前記ワイプが、粘性物質の接着もしくは凝集、孔、または交互配置から生じる摩擦力のうちの任意の組み合わせによって互いに解放可能に取り付けられている、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 3】

前記 1 つ以上のスパイクの端が全体的に先細りの形状である、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 4】

前記 1 つ以上のスパイクの下部が漏斗状の構造を形成する、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 5】

前記分配ノズルが、把持手段を提供するスパイクまたは突起の構造を含む、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 6】

前記開口部が、可撓性のエラストマー材料から形成されており、前記ワイプが引き出されるときに縮小する力を加えながら拡張可能である、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 7】

前記分配ノズルが、単一の素材によるシングルショット射出成形プロセスで形成される、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 8】

前記 1 つ以上のスパイクが、ポリプロピレンまたは HDPE から成る、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 9】

前記ノズルの壁が広げられた基部から内向きに先細りになりそして次に環状突起へと外向きに湾曲している、請求項 1 に記載のワイプ用収納容器。

【請求項 10】

前記広げられた基部がドーム形状の構造の形態である、請求項 9 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 11】

前記 1 つ以上のスパイクの屈曲に要する力の相違は、前記第 1 の位置から前記第 2 の位置に屈曲させる時の脆弱部分が存在することに起因する、請求項 1 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 12】

前記 1 つ以上のスパイクの屈曲に要する力の相違をもたらす前記脆弱部分が、前記前記 1 つ以上のスパイクが第 2 の位置に屈曲するためのスリットを有する、請求項 10 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 13】

分配ノズルを有する、ワイプ収納分配用容器であって、

使用時にワイプを収容するハウジングであって、前記ワイプは複数のシートから形成され、前記ワイプの端部は分離力を受けたときに別々のワイプに分離することができるよう解除可能に一連に互いに取り付けられている、ハウジングを含み、

前記ワイプ収納分配用容器は、先端部に開口部を有する分配ノズルを有し、

使用時に、ワイプを前記分配ノズルの前記開口部を通して前記ワイプ収納分配用容器から引き出すことができ、

前記分配ノズルは、1 つのワイプの隣接するワイプからの分離を可能にするか促進するのに十分な大きさの把持力を前記ワイプに適用し、

前記分配ノズル内に、1つ以上のスパイクが備えられており、

前記スパイクはその基部において幅広く、先端に行くにしたがって先細りの形状であり、

前記1つ以上のスパイクは第1の位置と第2の位置の間で第1の位置と第2の位置との間で屈曲することができ、

前記第1の位置では、前記1つ以上のスパイクは全体的に前記開口部の中央を向いており、

前記第2の位置では、前記1つ以上のスパイクは、前記開口部を通じて収納分配用容器からワイプが引き出される時にワイプが進む方向に全体的に傾き、

前記1つ以上のスパイクを前記第1の位置から前記第2の位置に屈曲させるのに必要な力は、前記1つ以上のスパイクを前記第1の位置から第3の位置に屈曲させるのに必要な力より小さく、

前記第3の位置では、前記1つ以上のスパイクは、前記開口部を通じて収納分配用容器からワイプが引き出される時にワイプが進む方向とは逆方向に全体的に傾き、

屈曲に必要な力の差は、前記1つ以上のスパイクが前記第1の位置から前記第2の位置に屈曲される際の脆弱部を有することによってもたらされる、

ワイプ収納分配用容器。

【請求項14】

前記スパイクの形状が、通常使用時に前記第2の位置に屈曲する際に、ワイプが前記分配ノズルの出口ギャップのすべてを占めるようになっている、

請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項15】

前記ワイプが、粘性物質の接着もしくは凝集、孔、または交互配置から生じる摩擦力のうちの任意の組み合わせによって互いに解放可能に取り付けられている、請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項16】

前記1つ以上のスパイクが、ポリプロピレンまたはH D P Eから成る、請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項17】

前記分配ノズルが、単一の素材によるシングルショット射出成形プロセスで形成される、請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項18】

前記開口部が弾性のある素材で作られており、ワイプが引き出される際に、縮小状態に付勢されるよう拡張可能である、

請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項19】

前記分配ノズルが、把持手段を提供するスパイクまたは突起の構造を含む、請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項20】

前記1つ以上のスパイクの下部が漏斗状の構造を形成する、請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項21】

前記1つ以上のスパイクの端が全体的に先細りの形状である、請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項22】

前記1つ以上のスパイクの屈曲に要する力の相違をもたらす前記脆弱部分が、前記1つ以上のスパイクが第2の位置に屈曲するためのスリットを有する、請求項13に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項23】

前記1つ以上のスパイクの屈曲に要する力の相違が、少なくとも、半径方向の断面で見たときに、前記環状突起と前記スパイクの上面との間の角度が、前記環状突起と前記スパイ

クの下面との間の角度よりも大きいことを特徴とする、スパイクの形状または角度によって生じる、請求項 1 3 に記載のワイプ用収納分配用容器。

【請求項 2 4】

前記ノズルの壁が広げられた基部から内向きに先細りになりそして次に環状突起へと外向きに湾曲している、請求項 1 3 に記載のワイプ用収納容器。

【請求項 2 5】

前記広げられた基部がドーム形状の構造の形態である、請求項 2 4 に記載のワイプ用収納容器。

【請求項 2 6】

前記分配ノズル内の前記 1 つ以上のスパイクが前記環状突起の内壁をその基部とする、請求項 2 4 に記載のワイプ用収納容器。